所属・氏名（医療栄養学部　医療栄養学科　氏名：手納直規）

	著書、学術論文等の名称	単著共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
1	（学術論文） Nonacidic chemotype possessing N-acylated piperidine moiety as potent farnesoid X receptor (FXR) antagonists.（筆頭論文）	共著	平成 30 年 1 月	ACS Med. Chem. Lett,. 9, 78- 83, American Chemical Society	著書全体の概要：既存の最も強力な FXR アンタゴニストと同等の活性を維持する化合物に至った。この FXR アンタゴニストは、選択性にも優れ、FXR の標的遺伝子も制御している。また、脂肪細胞の分化も阻害していることも確認できたため、現在 in vivo 試験の準備を整えている。 （Impact factor: 3.746） （著書全体の著者名：Teno, N.; Yamashita, Y.; Iguchi, Y.; Fujimori, K.; Une, M.; Nishimaki-Mogami, T.; Hiramoto, T.; Gohda, K.） （担当部分の概要：企画、化合物デザイン・合成、論文作成）
2	（学術論文） Discovery and optimization of benzimidazole derivatives as a novel chemotype of farnesoid X receptor (FXR) antagonists.（筆頭論文）	共著	平成 29 年 1 月	Bioorg. Med. Chem., 25, 1787- 1794 Elsevier	現在までの MedChem プログラムで合成してきた約 100 数十種類からなる化合物 libray を FXR アンタゴニスとの assay 系で測定したところ、hit-compound を見出すことができた。この hit の構造を基に hit validation と hit optimization を行ったところ、次につながる lead compound の発見に至った。この化合物は、FXR の下流に存在する CYP7A1 や SHP の活性も制御することも分かった。(7頁) （手納直規、井口祐介、山下ユキコ、森信博、宇根瑞穂、最上智子、合田圭吾、） （担当部分の概要：企画、化合物デザイン・合成、論文作成）
3	（学術論文） Plasmin inhibitors with hydrophobic amino acid-based linker between hydantoin moiety and benzimidazole scaffold enhance inhibitory activity.（筆頭論文）	共著	平成 28 年 3 月	Bioorg. Med. Chem. Lett., 26, 2259-2261. Elsevier	ヒダントイン部とベンゾイミダゾールのパーツを不斉をもつアミノ酸しかもＤ型アミノ酸でリンクすると活性が上昇することが分かり、今後のデザインのリード化合物を見つけることができた。(3 頁) （手納直規、合田圭吾、山下ユキコ、大坪忠宗、山口雅史、和中敬子、津田裕子） （担当部分の概要：企画、化合物デザイン・合成、論文作成）
4	（学術論文） Active site-directed plasmin inhibitors: Extension on the P2 residue.	共著	平成 28 年 3 月	Bioorg. Med. Chem., 24, 545- 553. Elsevier	トラネキサム酸を P1 サイトに持つ非共有結合性プラスミン阻害剤の構造活性相関。(9 頁) （日高浩志、合田圭吾、手納直規、和中敬子、津田裕子） 担当部分：化合物デザイン
5	（学術論文） Novel type of plasmin inhibitors: providing insight into P4 moiety and alternative scaffold to pyrrolopyrimidine. 《筆頭論文》	共著	平成 27 年 6 月	Bioorg. Med. Chem., 23, 3696- 3704. Elsevier	著書全体の概要：Pyrrolopyrimidine scaffold を benzimizazole scaffold に変更し両 scaffold が生物学的等価体であることを明らかにした(9 頁) （著書全体の著者名：手納直規、 合田圭吾、和中敬子、 津田裕子、 赤川舞依子、秋月絵里子荒木秀仁、増田有紗、大坪忠宗、山下ユキコ） （担当部分の概要：企画、化合物デザイン・合成、論文作成）